

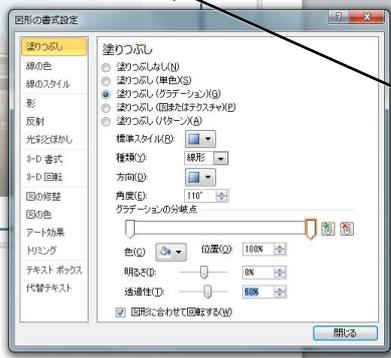
全国城郭探訪記

お城の紹介文書を、作ってみます。
各お城の紹介ごとにセクションを区切り、各セクションを段組みにしてみます。

1. 素材集め

お城の写真は、ウィキペディアなど、インターネット上から探しておきます。また、お城の解説は、そのお城の公式ホームページなどを参考に、自分で調べてまとめます。

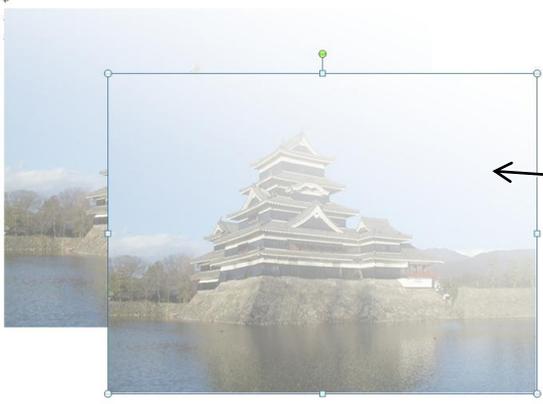
2. タイトル



①余白を「狭い」に、フォントサイズを 12pt に設定。
描画キャンバスを挿入し、その中に好みのお城の写真を挿入。

②描画キャンバス内に図形（四角）を描き、グラデーション（透過性 0%の白→透過性 60%の白、角度は好み）を設定します。

③写真①と四角②をぴったり重ね合わせます。②を枠線なしに設定。
→「すべて選択」をしてコピー。



④描画キャンバス外に、**図**として貼り付けます。これで、グラデーション写真ができました。元の描画キャンバスは、削除して OK です。
※写真とグラデーション図形の重ね合わせのままだと、ワードの特性で、うまく印刷できない可能性があります。

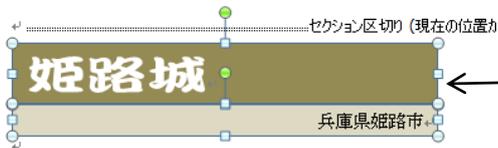


⑤④の位置を調整し、ワードアートでタイトルを挿入。

3. セクションの作成



①「ページレイアウト」タブ→「区切り」で、セクション区切り（現在の位置から開始）を入れます。



②テキストボックス（幅 89mm 程度）を2つ挿入。1つはお城の名前、もう1つは所在地を入力します。

③2つのテキストボックスは「左揃え」で位置をピッタリ合わせ、グループ化。



□南北朝時代の1346年、美作の守護大名、赤松貞範によって築城されました。山陽道の要衝にあり、豊臣秀吉も城主として入っています。関が原の戦いの恩賞として、池田輝政が城主となって、現在のような広大な城郭となりました。

□天守閣は、5層7階の小天守と東、西、乾（北西）の3つの小天守が組み合わされた、連立武天守閣になっています。



④作品例（最終ページ）のような解説を入力。その後に、お城の写真を挿入します。写真の「文字列の折り返し」は「行内」に。

⑤セクション区切り（現在の位置から開始）を挿入します。



□南北朝時代の1346年、美作の守護大名、赤松貞範によって築城されました。山陽道の要衝にあり、豊臣秀吉も城主として入っています。関が原の戦いの恩賞として、池田輝政が城主となって、現在のような広大な城郭となりました。

□天守閣は、5層7階の小天守と東、西、乾（北西）の3つの小天守が組み合わされた、連立武天守閣になっています。



⑥このセクションの2行目～写真までを選択し、「ページレイアウト」タブ→「段組み」→「2段」に。
※セクションの1行目から選択すると、2段目の頭下げができません。

⑦姫路城のタイトルをコピー→次のセクションに貼り付けして、首里城のタイトルを作成。同様にして、首里城のセクションを作成します。

4. 練習問題

(1) 次の解説文で、五稜郭のセクションを作ってみましょう。

五稜郭 北海道函館市

江戸時代末期の1866年、日米和親条約締結による箱館開港に伴い、防衛力の強化と役所の移転問題を解決するために建造されました。星形の城郭が、きわめて特徴的。戊辰戦争の最後の戦闘、「五稜郭の戦い」の舞台として有名です。

(2) 大坂城のセクションを、解説文も含めて作ってみましょう。

(3) 名古屋城のセクションを、解説文も含めて作ってみましょう。

(4) 余裕があったら、掲載したい城郭を調べ、セクションを加えていきましょう。

全国城郭探訪記



姫路城

兵庫県姫路市

南北朝時代の1346年、美作の守護大名、赤松貞範によって築城されました。山陽道の要衝にあり、豊臣秀吉も城主として入っています。関が原の戦いの恩賞として、池田輝政が城主となって、現在のような広大な城郭となりました。

天守閣は、5層7階の大天守と東、西、乾（北西）の3つの小天守が組み合わされた、連立式天守閣になっています。



首里城

沖縄県那覇市

築城年ははっきりしないが、14世紀末と考えられています。戦乱や火災により幾度も消失しており、第2次世界大戦でも消失しました。復元されたのは、1992年と、つい最近のことです。

沖縄では、「城」と書いて「グスク」と読みます。丘のまわりに曲線の城壁が構成されているのが、沖縄の城「グスク」の特徴です。

